

病院紹介



令和3年度は黒字決算となりました

この時期は、前年度の決算が公表されます。病院会計は公営企業会計として、国保京丹波町病院・和知診療所・和知歯科診療所の3施設一体で収支の決算を行います。

令和3年度はコロナ禍ではありましたが、国保京丹波町病院の入院および外来患者数が増えたことが大きく影響して、当年度純利益が約1,928万円となり、平成27年度以来の黒字決算となりました。

これは当院で安心して受診いただける環境づくりのため、職員一丸となった新型コロナウイルス感染対策が皆さんに認知されたことと、特に、国保京丹波町病院を「私たちの町の私たちの病院」としてご利用いただいた皆さんのおかげと感じております。本当にありがとうございました。

これからも引き続き、地域の皆さんに必要とされる

「町のかかりつけ病院」として、ご利用いただけますように職員一同、一層励んでまいります。

発熱外来って何？

発熱外来は、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、皆さんにも知られるところとなりました。読んで字のごとく、新型コロナウイルス感染症だけではなく、季節性インフルエンザを始めとする「発熱や咳等を伴う症状」がある感染症が疑われる患者さんが、適切に診察や検査が受けられるように、「診療・検査医療機関」として京都府が指定しているものです。

このような診療体制をとる理由は、一般外来で診察された患者さんが感染していた場合、別の疾病やケガで診察に来られた方々に感染させてしまう可能性があるため、一般の診察時間と分けた時間帯に、陰圧装置などの感染防止対策をした発熱外来を設置して診察しているのです。

いきいき健康術



バランスの良い食事を心がけましょう！

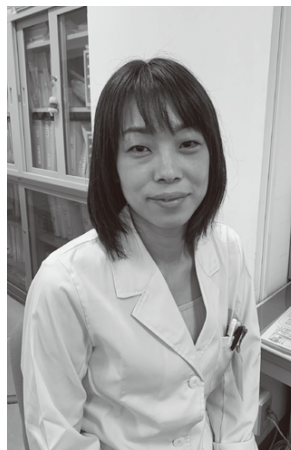
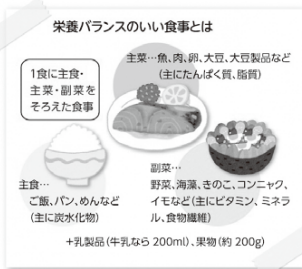
国保京丹波町病院  
 ふじのい きみよ  
 藤ノ井 公代 管理栄養士

食欲の秋ですね。ついつい食べ過ぎたり、食事が偏ったりしていませんか？「バランスの良い食事をしましょう」と言われますが、実際にどのような食事にすればよいのでしょうか？

バランスよく食べるには、毎回の食事で「主食」「主菜」「副菜」、この3つを揃えることが大切です。身体に必要な5大栄養素（炭水化物、蛋白質、脂質、ビタミン、ミネラル）をバランスよく摂ることができます。

主食とは『ご飯、パン、麺類』、主菜とは『魚、肉、卵、大豆製品』、副菜とは『野菜、海藻、きのこ類』にあたります。果物や乳製品も1日の間で加えられると満点です。

バランスの良い食事を意識して、食生活を見直してみましょう。



院長先生の Wellnessコラム

かき た ひで はる  
 垣田 秀治院長



新型コロナウイルス感染症もまだ続いているなか、次第に秋も深まってインフルエンザの時期を迎えようとしています。

昨年、一昨年は例年のようなインフルエンザの患者数はありませんでした。おそらく、コロナ対策としてマスク着用やうがい、手洗いなど感染対策が徹底されたことがインフルエンザ感染症の増加を抑制できたのではないかと、とされています。

では、今年はどうなるのでしょうか？

実は、8月、9月、冬のシーズンを迎えていたオーストラリアではインフルエンザが流行しており、今年は北半球でも増えるのではないかと、といった専門家の見解もあります。そして、2年間インフルエンザが少

なかったことで、日本人は集団免疫ができていないため要注意であるとも言われています。

しかし、インフルエンザ感染の予防はコロナと同じく、うがい、手洗い、そしてマスクの着用です。インフルエンザの感染力はコロナよりも弱いとされていますから、コロナ対策を続けること、そして10月後半から始まる予定のワクチン接種もすることでインフルエンザの感染拡大を防ぐことができるのではないかと、楽観的かもしれませんが私は期待しています。あくまでも個人的な見解ですが。

なかなか、感染症と縁を切ることができない昨今ですが、私たち一人ひとりの感染対策が今後も大切であることは間違いないですね。